

No.	部署名	款	項	目	細目	事業コード	科目名	R2支出額(円)	ページ
298	建設経済部 商工観光課	7	1	2	2	[00000295]	中小企業振興事業	91,297,826	1
299	建設経済部 商工観光課	7	1	2	3	[00000296]	商工振興事業①	10,269,203	3
300	建設経済部 商工観光課	7	1	2	3	[00000296]	商工振興事業②		5
301	建設経済部 商工観光課	7	1	2	3	[00000296]	商工振興事業③		7
302	建設経済部 商工観光課	7	1	2	3	[00000296]	商工振興事業④		9
303	建設経済部 商工観光課	7	1	2	3	[00000296]	商工振興事業⑤		11
304	建設経済部 商工観光課	7	1	2	7	[00001119]	企業立地等促進事業	493,000	13
305	建設経済部 商工観光課	7	1	2	8	[00001120]	里山オフィス管理運営事業	314,088	15
306	建設経済部 商工観光課	7	1	2	10	[00001260]	中小企業再建支援事業（新型コロナ対策）	127,246,013	17
307	建設経済部 商工観光課	7	1	3	1	[00000297]	観光事務費	8,290,472	19
308	建設経済部 商工観光課	7	1	3	2	[00000298]	海水浴場運営事業	7,893,772	21
309	建設経済部 商工観光課	7	1	3	3	[00000299]	街路灯維持管理費	9,614,179	23
310	建設経済部 商工観光課	7	1	3	4	[00000300]	観光振興事業①	64,651,282	25
311	建設経済部 商工観光課	7	1	3	4	[00000300]	観光振興事業②		27
312	建設経済部 商工観光課	7	1	3	4	[00000300]	観光振興事業③		29
313	建設経済部 商工観光課	7	1	3	4	[00000300]	観光振興事業④		31
314	建設経済部 商工観光課	7	1	3	4	[00000300]	観光振興事業⑤		33
315	建設経済部 商工観光課	7	1	3	4	[00000300]	観光振興事業⑥		35
316	建設経済部 商工観光課	7	1	3	13	[00001050]	広域連携事業	1,225,000	37
317	建設経済部 商工観光課	7	1	3	15	[00001112]	海辺の魅力づくり推進事業	32,143,000	39
318	建設経済部 商工観光課	7	1	3	16	[00001129]	地域力創造アドバイザー招致事業	5,000,000	41
319	建設経済部 商工観光課	7	1	3	17	[00001273]	マイクロツーリズム推進事業	8,000,000	43
320	建設経済部 商工観光課	7	1	3	18	[00001279]	観光振興事業（新型コロナ対策）	106,561,000	45
321	建設経済部 商工観光課	7	1	3	82	[00001227]	海水浴場運営事業（災害経費）	2,048,000	47
322	建設経済部 商工観光課	7	1	4	2	[00000304]	オーシャンパーク管理運営事業	14,947,681	49
323	建設経済部 商工観光課	7	1	4	3	[00001225]	オーシャンパーク管理運営事業（災害経費）	7,788,000	51
324	建設経済部 商工観光課	7	1	5	1	[00000305]	消費者対策事業	0	53

事業シート (概要説明書)

予算事業名	中小企業振興事業	事業開始年度	平成16年度		
上位施策事業名	中小企業等の経営支援及び起業環境の整備	担当課名	商工観光課		
根拠法令等	鴨川市中小企業資金の融資に関する条例、鴨川市中小企業資金の融資に関する条例施行規則	係名	商工振興係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	高梨 泰里		
実施の背景	中小企業者及び小規模事業者は、景気の動向を受けやすく経営基盤が弱い傾向にあるため、地域経済の活性化を図り中小企業者等の経営安定化に向け支援する必要がある。				
目的 (何をどうしたいのか)	中小企業者及び小規模事業者に対し事業に必要な資金を金融機関を通じて融資するとともに、借入れした際の利子補給を行い金利負担を軽減することにより、資金の融通を円滑に行い市内中小企業の振興を図ることを目的とする。				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市内中小企業者及び小規模事業者	対象者数 (全住民に対する割合) 1,403 人 (4.41 %)		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)			
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: 市内金融機関) <input type="checkbox"/> その他 ()				
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標		
	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業資金融資保証料補給金 1,120,600円 中小企業資金融資利子補給金 2,933,862円 小企業等経営改善資金利子補給金 7,243,364円 中小企業資金融資預託貸付金 80,000,000円 中小企業資金融資未収補填金 -円 		<ul style="list-style-type: none"> 保証料補給件数 利子補給件数 利子補給件数 		
関連事業 (同一目的事業等)					
事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
	事業費合計	92,129 千円	91,298 千円	90,952 千円	91,386 千円
	事業費内訳 R2年度	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業資金融資保証料補給金 1,120,600円 中小企業資金融資利子補給金 2,933,862円 小企業等経営改善資金利子補給金 7,243,364円 中小企業資金融資預託貸付金 80,000,000円 中小企業資金融資未収補填金 0円 			
	担当正職員	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円
	臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
人件費合計	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	
総事業費	92,689 千円	91,858 千円	91,512 千円	91,946 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円
	国庫支出金の内容				
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	80,000 千円	80,000 千円	80,000 千円	80,000 千円
	その他特財の内容 中小企業資金預託元金収入				
一般財源	12,689 千円	11,858 千円	11,512 千円	11,946 千円	
財源合計	92,689 千円	91,858 千円	91,512 千円	91,946 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		中小企業振興事業			事業開始年度	平成16年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		-		/	/	/	
		中小企業資金融資保証料補給	件	91 / 80	81 / 80	80 / 80	
		中小企業資金融資利子補給	件	56 / 100	96 / 100	94 / 100	
	小企業等経営改善資金利子補給	件	219 / 200	226 / 200	201 / 200		
単位当たりコスト	事業費 (預託貸付金を除く)	/	利子等補給件数	千円	31	27	30
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	市内中小企業者等への資金融資を円滑にすることで、地域活性化と中小企業者等の経営安定化を促す。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		中小企業資金融資	件	56/100	96/100	97/100	
		小企業等経営改善資金利子補給	件	219/200	226/200	201/200	
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	平成30年度において、中小企業者及び小規模事業者の新たな設備投資のための制度融資の利用は大型観光宿泊施設の休業等の影響を受け減少した。今後、貸付利率を下げ、依然経営基盤が弱い傾向にある中小企業等を支援する、利用しやすい施策として今後も継続していく必要がある。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	本市及び近隣市町における中小企業融資制度						
	市町	制度名	種類	融資限度額	融資利率 (年)	保証料補助 (年)	利子補給 (年)
	鴨川市	事業資金	運転資金	8,000千円	1年以内 2.15 3年以内 2.30	50%	運転 1% 設備 2%
			設備資金	15,000千円			
		小口零細企業保証資金	運転資金	7,000千円	5年以内 2.60		
			設備資金	10,000千円	10年以内 3.10		
	館山市	一般事業資金	運転資金	10,000万円	1年以内 1.90 3年以内 2.10	50%	0.5%
			設備資金	20,000千円			
		小口零細企業保証制度資金	運転資金	10,000千円	5年以内 2.40		
			設備資金	12,500千円	10年以内 2.90		
勝浦市	事業資金	運転資金	7,000万円	1年以内 2.40 3年以内 2.70	なし	融資利率の1/2	
		設備資金	15,000千円				
	小口零細企業保証資金	運転資金	7,000千円	5年以内 2.80			
		設備資金	12,500千円	10年以内 3.40			
君津市	事業資金	運転資金	15,000千円	1年以内 2.10 3年以内 2.30	決定保証料率が1.35を超えた場合にその差額を補助	2%以内	
		設備資金	30,000千円				
	創業資金	運転資金	5,000千円	5年以内 2.40			
		設備資金	15,000千円	10年以内 3.00			
富津市	事業資金	運転資金	10,000千円	1年以内 2.10 3年以内 2.20	なし	1.5%	
		設備資金	20,000千円				
	特別小口資金	運転資金	5,000千円	7年以内 2.60			
		設備資金	5,000千円	10年以内 2.90			
創業支援資金	運転資金	5,000千円	1年以内 2.00 3年以内 2.10				
	設備資金	10,000千円	5年以内 2.30 7年以内 2.50				
南房総市、鋸南町は制度なし。							
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	商工振興事業① /5		事業開始年度	平成16年度						
上位施策事業名	フィルムコミッションの推進		担当課名	商工観光課						
根拠法令等			係名	商工振興係						
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	高梨 泰里						
実施の背景	近年制作会社等における地域での撮影は増加傾向にあり、本市もこれら映像作品等の撮影を誘致、支援することにより、地域の知名度やイメージアップを行い観光客の増加や地域活性化を図る必要がある。									
目的 (何をどうしたいのか)	ご当地アニメを利用した事業や、映画、テレビドラマ、CMなど撮影に関する問合せへの対応や誘致を行い、撮影進行の協力及び支援をすることで、撮影された映像作品を通じて本市の知名度、イメージの向上と観光客の増加、地域経済への寄与等を図る。									
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	映像制作会社、観光客及び市民		対象者数 (全住民に対する割合)						
				人 (0 %)						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者) <input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()								
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標						
	・撮影に関する問合せへの対応・支援 を実施したロケ件数		-円	撮影に当たり誘致又は照会対応等						
関連事業 (同一目的事業等)										
コスト	R3年度 (予算)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)			
	事業費合計		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円				
	事業費内訳 R2年度									
	人件費	担当正職員	0.13 人	728 千円	0.13 人	728 千円	0.2 人	840 千円	0.2 人	1,120 千円
		臨時職員等		千円		千円		千円		千円
人件費合計		0.1 人	728 千円	0.1 人	728 千円	0.2 人	840 千円	0.2 人	1,120 千円	
総事業費		728 千円	728 千円	840 千円	1,120 千円					
財源内訳	国県支出金		千円		千円		千円		千円	
	国県支出金の内容									
	地方債		千円		千円		千円		千円	
	その他特財		千円		千円		千円		千円	
	その他特財の内容									
一般財源		728 千円	728 千円	840 千円	1,120 千円					
財源合計		728 千円	728 千円	840 千円	1,120 千円					

事業シート (概要説明書)

予算事業名		商工振興事業① /5			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		映画・ドラマ等撮影支援件数	件	31 / 31	42 / 42	57 / 57
				/	/	/
				/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	／ 撮影に当たり誘致又は照会対応等を実施したロケ件数	千円		
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	フィルムコミッション事業として、撮影に関する問合せの相談対応等だけではなく、市内での撮影協力及び支援することにより、本市の知名度向上と地域経済への寄与等を目指す。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		映画・ドラマ等放映件数	件	19/19	22/22	24/24
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	<p>現在本市において撮影等に係る誘致活動は少ないが、制作会社から撮影に関する問合せは多い状況にある。しかし、撮影等実施に向け連絡調整に時間をかけても、必ず撮影を実施する、或いは映像作品として公表するといった成果に繋がらない場合も多いことから、成果に繋がるような、撮影に利用可能な施設の確保やロケ地としての素材の情報収集等、撮影の誘致の推進を図る。</p> <p>また、アニメ作品を支援する団体に関しては、新たなメディア展開も予定されていないため、今後は運営補助ではなくフィルムコミッション事業の一環として総合的な支援を検討する。</p>				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	商工振興事業②/5	事業開始年度	平成16年度							
上位施策事業名	商工会活動等の促進	担当課名	商工観光課							
根拠法令等	鴨川市商工業振興対策事業補助金交付要綱	係名	商工振興係							
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	高梨 泰里							
実施の背景	商工会法に基づき市内事業者が業種に関わりなく会員となり、互いの事業の発展や地域の発展のために総合的な活動を行う公的団体である商工会など、本市の各経済団体が実施する事業を支援することで、本市の商工振興及び地域の経済活性化を図る必要がある。									
目的 (何をどうしたいのか)	商工会が小規模事業者の経営基盤強化を目的として実施する集団、個別相談等経営改善普及事業や、市内における商業振興、建設工業振興、観光サービス業振興など地域活性化を推進する地域総合振興事業、並びに、たばこ商業協同組合が実施する社会貢献事業等を支援することで本市の商工業振興及び地域経済の拡大循環を図る。									
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	商工会会員	対象者数 (全住民に対する割合) 1,019 人 (3.20 %)							
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施								
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)								
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 鴨川市商工会、千葉県たばこ商業協同組合鴨川支部 実施主体: 鴨川市商工会、千葉県たばこ商業協同組合鴨川支部)								
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標							
	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨川市商工会補助金 8,500,000円 経営改善講習会等の年間開催回数、経営指導員の指導件数 ・商工会共同広告・協働イベント賑わい創出事業補助金 600,000円 共同広告・協働イベント (スタンプラリー) 参加店舗数 ・鴨川たばこ商業協同組合補助金 450,000円 たばこ商業協同組合による未成年者喫煙防止・環境美化活動件数 									
関連事業 (同一目的事業等)	<ul style="list-style-type: none"> ・物産交流協会及び友好交流都市等物産交流事業 1,500千円 (市内商工業者で組織する鴨川市物産交流協会と市が連携し、姉妹都市や友好交流都市等における物産展やアンテナショップに鴨川市の特産品を販売することにより、地元産品の販路拡大やブランド化、それらによる販売事業者の所得向上を図る。) ・小企業等経営改善資金利子補給事業 7,243千円 (商工会の行う経営改善普及事業として経営指導を受けている小規模事業者が、商工会の推薦を受けて株式会社日本政策金融公庫法に基づく小企業等経営改善資金融資【通称：マル経融資】の貸付に対し、市が1%の利子補給を行い市内商工業者の経営の安定化を図る。) 									
コスト	R3年度 (予算)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)			
	事業費合計		8,555 千円	9,550 千円	9,550 千円	9,600 千円				
	事業費内訳 R2年度		<ul style="list-style-type: none"> ・鴨川市商工会補助金 8,500,000円 ・商工会共同広告・協働イベント賑わい創出事業補助金 600,000円 ・鴨川たばこ商業協働組合補助金 450,000円 							
	人件費	担当正職員	0.3 人	1,681 千円	0.3 人	1,681 千円	0.3 人	1,681 千円	0.3 人	1,681 千円
		臨時職員等								
人件費合計		0.3 人	1,681 千円	0.3 人	1,681 千円	0.3 人	1,681 千円	0.3 人	1,681 千円	
総事業費		10,236 千円	11,231 千円	11,231 千円	11,281 千円					
財源内訳	国庫支出金	国庫支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	6,000 千円	8,500 千円	1,965 千円	5,000 千円					
	その他特財の内容		ふるさぽーと基金繰入金8500							
	一般財源	4,236 千円	2,731 千円	9,266 千円	6,281 千円					
財源合計		10,236 千円	11,231 千円	11,231 千円	11,281 千円					

事業シート (概要説明書)

予算事業名		商工振興事業②/5			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
				/	/	/
		経営改善講習会等の年間開催回数	回	18 / 15	44 / 15	23 / 15
		経営指導員の指導件数 (巡回・窓口・創業)	回	2,402 / 2,720	2,429 / 2,720	2,823 / 2,720
		たばこ商業協同組合による未成年者喫煙防止・環境美化活動件数	回	6 / 6	6 / 6	6 / 6
単位当たりコスト	総事業費	／ 講習会開催件数+経営指導回数+たばこ組合活動件数	円	4,629	4,530	3,955
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	商工会では中小企業者や小規模事業者を対象とした経営改善講習会や経営指導員による指導などを実施しており、市内商工業者に対して経営安定化への貢献度は高くなっている。 また、たばこ商業協同組合については、加入しているたばこ販売店など中小企業、小規模事業者への経営安定化を図るだけでなく、未成年者の喫煙防止キャンペーンやたスポカード普及促進による未成年者喫煙防止活動、環境美化活動による喫煙マナー向上活動を実施するなど地域への社会貢献の役割も担っている。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		経営改善講習会等の受講者数	人	360/410	705/410	506/410
	商工会会員数	事業者	1,019/1,001	1,001/1,022	1,022/1,015	
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	これまで商工会は、経営改善普及事業において、行政では対応できない専門的な知識を持った経営指導員や記帳指導員が個々の小規模事業者に対する経営、財務、税務等の指導を行うとともに、地域活性化を推進する地域総合振興事業では、行政や地域の団体と連携し地域全体の発展に貢献し、市が継続的に支援することにより事業の効果が見られたが、経営改善普及事業が商工会の主となる事業だとして、地域総合振興事業を縮小している傾向にある。また、平成29年度、事業仕分けにより「要改善」の指摘を受け、経営改善普及事業及び地域総合振興事業の内容の検証や補助金の活用方法の検証を進めてきたが、補助金については、これまでも適宜、減額しており、近隣市町の状況と比べ会員数、補助額の割合を見ても高いとは言えない状況にあることから現行どおり実施すべきものと判断したが、今後の商工業振興に対する商工会のビジョン等により、補助金の大幅な削減も検討する必要がある。 たばこ商業協同組合の活動を支援することにより、小規模事業者等の経営安定化だけではなく事業者による地域への社会貢献も期待できる。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		<ul style="list-style-type: none"> ・南房総市 平成30年度南房総市朝夷商工会への補助金額 9,050,000円 会員数656事業者 平成30年度南房総市内房商工会への補助金額 5,116,000円 会員数298事業者 ・鋸南町 平成30年度鋸南町商工会への補助金額 4,266,000円 会員数237事業者 ・館山市 平成30年度館山市商工会議所への補助金額 7,071,000円 会員数949事業者 				
特記事項		鴨川市商工会補助金：20年度、900万円から850万円に減額 鴨川たばこ商業協同組合補助金：29年度、47万円から45万円に減額 商工会共同広告・協働イベント賑わい創出事業補助金：30年度、65万円から60万円に減額 本事業の令和3年度予算は、商工会活動等支援事業(8,587千円)に予算計上(4月補正)している。				

事業シート (概要説明書)

予算事業名	商工振興事業③ /5		事業開始年度	平成16年度		
上位施策事業名	商店街等活性化の支援		担当課名	商工観光課		
根拠法令等			係名	商工振興係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	高梨 泰里		
実施の背景	本市中心市街地に位置する前原・横渚地区の商店で組織されている鴨川中央商店街振興組合による空き店舗を活用した事業等を支援するとともに、市と商工会が連携して市内に点在する商店の販売活動促進や維持継続を推進することで、本市商業振興の発展と地域経済の活性化を図る必要がある。					
目的 (何をどうしたいのか)	鴨川中央商店街振興組合による共同研修や商店街の空き店舗や店先を活用した事業等への支援、今後の商店街のあり方について商工会等関係団体を交えて検討会を行うなど商店街の活性化に努める。また、地域商店による商品販売活動及びポイントサービス事業等の活性化を支援する。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市内商工業者 (商店経営者)		対象者数 (全住民に対する割合)		
				1,403 人 (4.41 %)		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施				
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)				
		<input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)				
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()					
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費	活動指標		
	・商店街にぎわい創出事業補助金 -円		商店街活性化に係る検討会等の年間開催回数			
関連事業 (同一目的事業等)						
コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	0 千円	0 千円	0 千円	300 千円	
	事業費内訳 R2年度					
	人件費	担当正職員	0.0 人 0 千円	0.00 人 0 千円	0.0 人 0 千円	0.1 人 280 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
		人件費合計	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円	0.1 人 280 千円
	総事業費	0 千円	0 千円	0 千円	580 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円	
		国県支出金の内容				
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	
		その他特財の内容				
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	580 千円		
財源合計	0 千円	0 千円	0 千円	580 千円		

事業番号

予算科目
(款項目) 7 - 1 - 2

令和3年度

事業シート (概要説明書)

予算事業名		商工振興事業③ /5		事業開始年度	平成16年度		
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		商店街等活性化に係る検討会等の年間開催回数		回	/	/	3 / 3
					/	/	/
					/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	商店街等活性化に係る検討会等の年間開催回数	千円		193
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	商工会等関係団体を交えて検討会を実施することにより、今後の商店街や商工会のあり方、市内商工業における問題点と解決策を協議することで、商店街の活性化や持続的な商工振興につながる。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		商店街等活性化に係る検討会等の年間開催回数		回			3/3
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	本事業では、鴨川中央商店街振興組合が実施する商店街にぎわい創出事業に対し補助を行ってきたが、鴨川中央商店街振興組合が平成30年度をもって解散となったため、今後の事業の実施方法等について検討する。市内の小規模事業者や商店街等の存続は、特に遠距離への移動手段を持たない消費者への利便性を図る上でも必要不可欠であり、地域経済の活性化を推進していくためにも継続的な支援が必要である。しかし、商店街等においても社会情勢の変化による高齢化や後継者不足といった問題は深刻化しており、これらに対処する解決策を検討していかなければならない状況である。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)							
特記事項		鴨川中央商店街振興組合 平成31年3月31日解散。 商店街にぎわい創出事業補助金：平成30年度（30万円）で終了。					

事業シート (概要説明書)

予算事業名	商工振興事業④ /5	事業開始年度	平成16年度
上位施策事業名	物産の販路拡大の促進	担当課名	商工観光課
根拠法令等		係名	商工振興係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	高梨 泰里
実施の背景	本市のイメージアップ、ブランド化を図るため各種団体や商工業者を中心に活動しており、各団体を支援することで一次産品の高付加価値化と販売促進による事業者の所得向上を図ることができる。		
目的 (何をどうしたいのか)	市内商業者で組織する鴨川市物産交流協会と市が連携して、姉妹都市や友好交流都市等における物産展やアンテナショップ等にて本市特産品を販売することにより、地元産品のアピールと販路拡大や販売事業者等の所得向上を図る。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市内商工業者	対象者数 (全住民に対する割合)		
			1,403 人	(4.41 %)	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)			
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 <small>鴨川観光プラットフォーム株式会社</small> 実施主体:)			
<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()					
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費	活動指標	
	・物産交流協会補助金 373,875円		物産展参加件数		
関連事業 (同一目的事業等)					

事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	700 千円	374 千円	1,600 千円	1,800 千円	
	事業費内訳 R2年度	・物産交流協会補助金 373,875円				
	人件費	担当正職員	0.2 人 1,120 千円	0.02 人 112 千円	0.2 人 1,120 千円	0.5 人 2,801 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
		人件費合計	0.2 人 1,120 千円	0.0 人 112 千円	0.2 人 1,120 千円	0.5 人 2,801 千円
総事業費	1,820 千円	486 千円	2,720 千円	4,601 千円		
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円	
	国県支出金の内容					
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	
	その他特財の内容					
	一般財源	1,820 千円	486 千円	2,720 千円	4,601 千円	
財源合計	1,820 千円	486 千円	2,720 千円	4,601 千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		商工振興事業④ /5			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		-		/	/	/
		物産展参加件数	回	1 / 23	26 / 23	21 / 23
				/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/ 物産展参加件数	千円	486	105
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	姉妹都市や友好交流都市等における物産展やアンテナショップ等において本市特産品を販売することにより、市内事業者の販路拡大や本市物産品のイメージアップ、需要拡大による認知度の向上を通じて特産品のブランド化を目指していく。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		物産展参加件数	回	1/23	26/23	21/23
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	本市の特産品を市外に販売するなどの単純な利益追求だけが目的ではなく、本市地域資源の周知や観光PR事業なども推進しており、個々の事業者が個別に実施するよりも実効性が高い。また、地域ブランドの確立は一朝一夕ではなされないため長期にわたるプランニングが必要である。 鴨川市物産交流協会は、平成30年度をもって解散となったため、令和元年度の物産交流事業については、鴨川観光プラットフォームと連携し実施する。これまでの物産交流協会会員に限らず、幅広く市内商工業者を対象として事業を推進する。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項		物産交流協会補助金：30年度（135万円）で終了。 友好交流都市等物産交流事業補助金：30年度（45万円）で終了。 本事業の令和3年度予算は、物産販売拡大促進事業（897千円）に予算計上している。				

事業シート (概要説明書)

予算事業名	商工振興事業⑤ /5	事業開始年度	平成16年度
上位施策事業名	市営駐車場の適切な維持管理の推進	担当課名	商工観光課
根拠法令等	鴨川市営駐車場の設置及び管理に関する条例	係名	商工振興係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	高梨 泰里
実施の背景	新町通り商店街、中央通り商店街の利用者や事業者のための駐車場として「中央通り駐車場」を整備し、商店街の活性化を図る。指定管理者である鴨川市商工会が適正な維持管理に努める。また、JR鴨川駅西口に、市民が電車や高速バスを利用する際の一時的な利用を目的として「鴨川駅西口駐車場」を設置し、市民の利便性を確保する。		
目的 (何をどうしたいのか)	市民や事業者のための駐車場を整備することで、利便性の確保、商店街の活性化、商工振興の発展を図る。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民、事業者	対象者数 (全住民に対する割合)	32,290 人 (101.4 %)
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 鴨川市商工会) 【中央通り駐車場】		
		<input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)		
		<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
関連事業 (同一目的事業等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工振興事務費 ・ 観光事務費 (市営駐車場の適切な維持管理の推進) 			

事業コスト			R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)		
	事業費合計	千円	310 千円	297 千円	297 千円			
	事業費内訳 R2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中央通り駐車場用地に係る土地借上料 296,400円 ・ 駐車場街路灯に係る電気料金 13,199円 						
	人件費	担当正職員	0 人	0 千円	0 人	0 千円	0 人	0 千円
		臨時職員等	0 人	0 千円	0 人	0 千円	0 人	0 千円
		人件費合計	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円
	総事業費	0 千円	310 千円	297 千円	297 千円			
財源内訳	国県支出金	国県支出金の内容						
	地方債	千円	千円	千円	千円			
	その他特財	千円	千円	千円	297 千円			
	その他特財の内容							
	一般財源	0 千円	310 千円	297 千円	0 千円			
財源合計	0 千円	310 千円	297 千円	297 千円				

事業シート (概要説明書)

予算事業名		商工振興事業⑤ /5		事業開始年度	平成16年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		中央通り駐車場の年間利用台数	台	177 / 468	182 / 468	222 / 468
		鴨川駅西口駐車場の年間利用台数	台	456 / 456	456 / 456	456 / 456
				/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/ 中央通り駐車場の年間利用台数	円	1,751	1,632
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	商店街利用者や事業者の利便性向上、商店街の活性化を図ることを目的としていることから、駐車場の稼動状況 (月平均利用台数) を成果目標とする。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		中央通り駐車場の月平均利用台数	台	15/39	15/39	19/39
		鴨川駅西口駐車場の月平均利用台数	台	38/38	38/38	38/38
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	【中央通り駐車場】 商店街の空き店舗が多くなってきており、月平均の利用状況は19台、利用可能台数に対して約50%となっている。そのうち、設置目的である商業用に利用されているのは13台であることから、今後の管理の方法、または設置そのもののあり方について、検討が必要である。 【鴨川駅西口駐車場】 一時的な利用を目的として設置しているが、日中は恒常的な駐車が多く見られ常に満車状態である。設置目的以外の利用者と思われることから、受益者負担とし有料化を検討する。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	【勝浦市】 ○勝浦駅北口月極駐車場 (市営) ・ 駐車料 4,000円 (1区画1ヶ月あたり) ・ 利用可能台数 50台					
	特記事項	平成18年度から中央通り駐車場の管理を指定管理に移行し、鴨川市商工会を指定管理者として指定した。商工会は駐車場使用料を利用料金として徴収し、市に徴収された金額から指定管理料相当分として360,000円を控除した額を雑入として納入する。 利用料金納入額 (実績) 平成28年度 622千円、平成29年度 589千円、平成30年度 575千円、令和元年度 496千円 本事業の令和3年度予算は、市営駐車場維持管理事業 (4,282千円) に予算計上している。				

事業シート (概要説明書)

予算事業名	企業立地等促進事業	事業開始年度	16年度
上位施策事業名	企業立地等の促進	担当課名	商工観光課
根拠法令等	鴨川市企業立地及び雇用の促進に関する条例	係名	商工振興係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	高梨 泰里
実施の背景	本格的な少子・高齢化と人口減少が進行する中、地域産業の振興と活力ある市勢の伸展、魅力ある地域づくりの推進に寄与し、人口流出に歯止めをかけるため、産業集積の形成及び活性化、地域経済の自律的発展の基盤を強化するとともに、安定的な雇用の場を確保する必要がある。		
目的 (何をどうしたいのか)	事業所の新設又は増設を行う企業に対して必要な奨励措置を講ずることにより、本市における企業の立地及び雇用の促進を図り、もって地域産業の振興と活力ある市勢の伸展に寄与する。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	企業等 (事業を営む法人又は個人)	対象者数 (全住民に対する割合)	人 (0 %)
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)		
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 指定企業 実施主体:)		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費	活動指標
	<ul style="list-style-type: none"> ・奨励措置適用対象企業の指定 -円 指定数 ・企業立地奨励金の交付 493,000円 交付件数 ・雇用促進奨励金の交付 -円 交付件数 ・市HPを通じた市内の立地環境に関する情報提供等 -円 HP記事件数 ・企業立地促進審議会の開催 -円 開催回数 			
関連事業 (同一目的事業等)	里山オフィスの整備 (旧大山小学校校舎の未利用スペースを貸しオフィスとして整備)			

事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	68 千円	493 千円	4,440 千円	4,724 千円	
	事業費内訳 R2年度	・企業立地奨励金の交付 1件 (新規0・継続1) 493,000円				
	人件費	担当正職員	0.1 人 560 千円	0.2 人 1,120 千円	0.2 人 1,120 千円	0.2 人 1,120 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
		人件費合計	0.1 人 560 千円	0.2 人 1,120 千円	0.2 人 1,120 千円	0.2 人 1,120 千円
総事業費	628 千円	1,613 千円	5,560 千円	5,844 千円		
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円	
	国県支出金の内容					
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	0 千円	千円	808 千円	2,000 千円	
	その他特財の内容					
一般財源	628 千円	1,613 千円	4,752 千円	3,844 千円		
財源合計	628 千円	1,613 千円	5,560 千円	5,844 千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		企業立地等促進事業			事業開始年度	16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		立地企業及び事業所の増加・拡充件数 (計画期間内の累計)	件	5 / 5	5 / 5	5 / 5
		企業立地奨励金の交付件数	件	1 / 3	3 / 3	3 / 3
		雇用促進奨励金の交付件数	件	0 / 1	1 / 1	1 / 1
	市ホームページ記事件数	件	2 / 2	2 / 2	2 / 2	
単位当たりコスト	総事業費	/	立地企業等の増加・拡充件数 (単年度)	千円	-	-
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	本事業の目的とする企業立地等の促進に係る成果を表す指標であるため、活動指標でもあるが、立地企業及び事業所の増加・拡充件数 (奨励措置対象企業指定件数) を設定する。 また、本事業の目的とする雇用の促進を量的に表す指標として、増加雇用者数を設定する。 さらに、本市の立地環境に対する企業等の関心の度合いを表す指標として、市ホームページ記事アクセス件数を設定する。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		立地企業及び事業所の増加・拡充件数 (H26年度からの累計)	件	5/5	5/5	5/5
		増加雇用者数 (雇用促進奨励金の対象とする増加雇用者数)	人	0/17	7/17	25/17
市ホームページ記事アクセス件数	件	417/1,000	459/1,000	413 / 1,000		
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	地方創生に関する国・県等の動向を踏まえ、企業誘致施策を効果的に推進するとともに、他部門が所管する産業振興関連諸制度との連携の強化を図る必要がある。 このため、地域の経済・産業構造の分析や立地企業との情報交換、企業立地促進審議会等を通じ、立地可能性が高く、既存の産業構造に好影響を与える企業等の立地を戦略的に進めるとともに、効果的な誘致活動の実施体制・方法などを検討する。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	本市及び近隣市町における立地企業に対する補助金等の概要 (令和2年4月1日現在) ・ 鴨川市 対象業種： - 企業立地奨励金：固定資産税相当額 (3年間) 雇用促進奨励金：10万円/人 (1回限り、上限3,000万円) ・ 館山市 対象業種：製造業、観光業、旅館・ホテル業、情報サービス業 立地奨励金：固定資産税、都市計画税相当額を限度 (3年間) 雇用促進奨励金：10万円/人 (1回限り、上限2,000万円) ・ 南房総市 対象業種：耕種農業、製造業、情報サービス業、道路貨物運送業、自然科学研究所、旅館、ホテル、高等教育若しくは専門学校用に供するもの等 立地奨励金：固定資産税相当額 (5年間) 雇用促進奨励金：60万円/人 (1回限り、3,000万円限度) ※別に環境推進奨励金あり ・ 鋸南町 制度なし 対象業種：製造業、旅館業、情報サービス業、情報通信技術利用事業、農林水産物等販売業、流通加工業、植物工場、観光業 企業立地奨励金：固定資産税収納相当額 (3年間) 雇用促進奨励金：50万円/人 (1回限り、2,000万円限度) ・ 君津市 対象業種：製造業、情報通信業、流通加工業、卸売業、小売業、飲食サービス業、農業、宿泊業、新エネルギー関連産業 奨励金：法人市民税、固定資産税、都市計画税の納付相当額 (5年間) ※法人市民税は新規立地企業の場合のみ 雇用促進奨励金：30万円/人 (1回限り) ※別に累積投資型立地奨励金あり ・ 富津市 対象業種：製造業、加工業並びにこれらに関連する流通、試験、研究他 奨励金：固定資産税収納額相当額の範囲内 (3年間) ・ 大多喜町 対象業種： - 事業所設置奨励金：固定資産税相当額以内 (5年間) 雇用促進奨励金：50万円/人 (1回限り、上限1,000万円) ※投資額及び雇用者数等、交付に当たっての条件等に差異あり					
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	里山オフィス管理運営事業	事業開始年度	平成30年度
上位施策事業名		担当課名	商工観光課
根拠法令等	鴨川市里山オフィスの設置及び管理に関する条例	係名	商工振興係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	高梨 泰里
実施の背景	旧大山小学校において、地区公民館が併設され、地域住民のコミュニティ活動が間近で行われている環境(校舎の一部を公民館として使用中)を活かし、教室等未利用スペースを貸しオフィスとして整備した。入居団体相互又は、地域との協働事業を推進するため共用スペースを併せて整備した。		
目的 (何をどうしたいのか)	地域の活性化に向けて活動する団体等の集積を進め、新規雇用を創出するとともに一層の移住・定住の促進を図る。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	里山オフィスの利用団体等	対象者数 (全住民に対する割合)	人 (0 %)
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)		
		<input type="checkbox"/> 補助金(<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費	活動指標
	・ 里山オフィスの管理・運営 314,088円		入居団体数	
関連事業 (同一目的事業等)	企業立地等促進事業			

		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
事業コスト	事業費合計	906 千円	314 千円	976 千円	1,399 千円
	事業費内訳 R2年度	・ 消耗品費 33,326円 ・ 修繕料 37,400円	・ 光熱水費 163,453円 ・ 電話料 79,909円		
	人件費	0.2 人 1,120 千円	0.3 人 1,681 千円	0.3 人 1,681 千円	0.2 人 1,120 千円
	総事業費	2,026 千円	1,995 千円	2,657 千円	2,519 千円
財源内訳	国県支出金				
	国県支出金の内容				
	地方債				
	その他特財	906 千円	314 千円	390 千円	1,008 千円
	その他特財の内容	里山オフィス使用料			
一般財源	1,120 千円	1,681 千円	2,267 千円	1,511 千円	
財源合計	2,026 千円	1,995 千円	2,657 千円	2,519 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		里山オフィス管理運営事業			事業開始年度	平成30年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		入居団体数	団体	7 / 8	8 / 8	7 / 8	
				/	/	/	
				/	/	/	
	単位当たりコスト	総事業費	/	入居団体数	千円	396	332
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	本事業の目的とする地域活性化に向けて活動する団体等の集積に係る指標として、年間使用料収入及び入居団体等による地域との協働事業数を設定する。また、移住・定住の促進も目的としているため、入居団体等の移住・定住数を設定する。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		入居団体の移住・定住者数	人	4/38	4/38	5/38	
		入居団体等からの年間使用料収入	千円	2,350/1,500	2,808/1,500	2,750/1,500	
	入居団体等による地域との協働事業数	件	2/4	16/4	15/4		
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	入居団体等相互又は地域との連携を推進し、地域の活性化や移住・定住の促進を図っていく。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)							
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	中小企業再建支援事業 (新型コロナ対策)	事業開始年度	令和2年度
上位施策事業名		担当課名	商工観光課
根拠法令等		係名	商工振興係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	高梨 泰里
実施の背景	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業者は休業等を余儀なくされ、売上げが大幅に減少し、経営の安定に支障が生じている。また、市内消費の落ち込みにより雇用労働環境や地域経済が悪化している。		
目的 (何をどうしたいのか)	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、事業者の売上げの回復や雇用を維持することで、新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済活動の両立を目指す。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市内事業者	対象者数 (全住民に対する割合)	人 (0 %)
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)		
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 鴨川市商工会ほか 実施主体:)		
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()			
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
	<p>【鴨川市中小企業再建支援金】 事業費：77,400千円 活動指標：支援金申請件数 売上が前年比50%以上減少したことより、千葉県中小企業再建支援金の支給を受ける事業者に対し、最大20万円の上乗せ給付を実施する。</p> <p>【鴨川市雇用調整助成金等申請支援金】 事業費：2,747千円 活動指標：支援金申請件数 雇用調整助成金及び緊急雇用安定助成金の支給申請事務を社会保険労務士に依頼した場合に要する費用について、最大10万円の支援金を交付する。</p> <p>【鴨川お買い物割引支援事業補助金】※商工会への補助により実施 事業費：45,846千円 活動指標：参画事業者数 商工会の会員である市内事業所を対象に1店舗あたり最大20万円分の割引クーポンを配布する。</p>			
関連事業 (同一目的事業等)				

		R3年度 (予算)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)				
事業コスト	事業費合計	千円	127,246	千円		千円		千円				
	事業費内訳 R2年度	鴨川市中小企業再建支援金 77,400,000円		鴨川市雇用調整助成金等申請支援金 2,747,000円		鴨川お買い物割引支援事業補助金 45,845,900円		会計年度任用職員報酬 他 1,253,113円				
	担当正職員	人	0	千円	0.8	人	4,482	千円	人	0	千円	
	臨時職員等	人		千円		人		千円	人		千円	
	人件費合計	0.0	人	0	千円	0.8	人	4,482	千円	0.0	人	0
	総事業費	0	千円	131,728	千円	0	千円	0	千円			
財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円		千円			
	国庫支出金の内容											
	地方債		千円		千円		千円		千円			
	その他特財		千円		千円		千円		千円			
	その他特財の内容											
	一般財源	0	千円	131,728	千円	0	千円	0	千円			
財源合計	0	千円	131,728	千円	0	千円	0	千円				

事業シート (概要説明書)						
予算事業名		中小企業再建支援事業 (新型コロナ対策)			事業開始年度	令和2年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		中小企業再建支援金申請件数	件	650 / 650	/	/
		雇用調整助成金等申請支援金申請件数	件	29 / 29	/	/
		鴨川お買い物割引支援事業参画店舗数	件	232 / 232	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/ 申請件数・店舗数	円	144,597	
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	事業者の支援及び地域経済の振興が事業の目的であることから、本事業における補助金交付額、支援雇用者数、市内消費喚起額を成果指標とした。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		中小企業再建支援金額	千円	77,400	/	/
		雇用調整助成金等申請支援金雇用支援者数	人	628	/	/
	鴨川お買い物割引支援事業消費喚起額	千円	160,000	/	/	
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	新型コロナウイルス感染症の拡大により、売上げが減少した事業者の支援や落ち込んだ市内の消費を喚起するために実施したものであり、事業実施による市内経済の振興に一定の効果はあったと考える。 引き続き臨時交付金を活用した事業を実施し、市内の経済振興を図っていく。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	観光事務費	事業開始年度	平成16年度		
上位施策事業名	市営駐車場の適切な維持管理の推進	担当課名	商工観光課		
根拠法令等		係名	観光振興係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	影山光一		
実施の背景	市内の観光拠点及び夏期における海水浴客等の駐車場が不足している状況にあったことから、市民や観光客の利便性の確保のため市内5箇所に駐車場を整備し、適正な維持管理に努める。 また、日本の渚百選にも選定されている「前原・横渚海岸」をはじめとした本市の海岸線は地域住民憩いの場であり、観光客も多く訪れる観光スポットであるため、年間を通じて美しい海岸の維持に努める。				
目的 (何をどうしたいのか)	市内5箇所の駐車場の適正な維持管理、美しい海岸の維持等により、市民の利便性向上と観光客の増加を図る。				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民、観光客	対象者数 (全住民に対する割合) 人 (0.0 %)		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施			
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)			
		<input type="checkbox"/> 補助金(<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)			
	<input type="checkbox"/> 貸付(貸付先:) <input type="checkbox"/> その他()				
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標		
関連事業 (同一目的事業等)	商工振興事業⑤ (市営駐車場の適切な維持管理の推進)				
コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
	事業費合計	5,857 千円	6,399 千円	9,907 千円	10,290 千円
	事業費内訳 R2年度	費用弁償 14,535円 消耗品費 207,909円 燃料費 64,865円 光熱水費 686,570円 修繕料 671,016円 その他手数料 4,400円 特定自主検査手数料 40,700円 自動車損害保険料 34,760円 傷害保険料 33,550円 清掃等委託料 400,000円 妙の浦周辺観光施設維持管理委託料 150,000円 二日間駐車場管理委託料 50,000円 観光施設清掃整備委託料 121,550円 植木等管理委託料 73,200円 土地借上料 3,725,424円 観光施設整備用材料 36,400円 日本の森・滝・渚全国協議会負担金 30,000円 千葉県観光物産協会負担金 27,000円 全国「道の駅」連絡会負担金 20,000円 温泉所在都市協議会負担金 7,000円			
	担当正職員	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.3 人 1,681 千円
	臨時職員等	4.0 人 2,691 千円	5.0 人 1,892 千円		
人件費合計	4.1 人 3,251 千円	5.1 人 2,482 千円	0.1 人 560 千円	0.3 人 1,681 千円	
総事業費	9,108 千円	8,851 千円	10,467 千円	11,971 千円	
財源 内訳	国県支出金				
	国県支出金の内容				
	地方債				
	その他特財			200 千円	6 千円
	その他特財の内容	ふるさぽーと基金繰入金			
一般財源	9,108 千円	8,851 千円	10,267 千円	11,965 千円	
財源合計	9,108 千円	8,851 千円	10,467 千円	11,971 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		観光事務費		事業開始年度	平成16年度		
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		駐車台数 ①芝浜②ニタ間③清澄第1④清澄第2⑤小湊駅前		台	①125② 73③15④ / 121⑤160	①125② 73③15④ / 121⑤160	①125② 73③15④ / 121⑤160
		海岸美化作業日数 (作業員4名による延べ日数)		日		374 /	/
						/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	駐車場収容台数	円	7,917	21,188
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	各駐車場の年間を通じての駐車台数を成果目標として設定する。 また、観光客の増加を図ることが事業の目的であることから観光入込客数を成果指標とする。 ※現在の状況について、夏時期や参拝時期等において満車状態の確認は取れているが、それ以外の時期について駐車台数の確認が取れていないことから、昨年10月から調査を実施している。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		利用台数		台			/
		観光入込客数		人	1,763,140	2,477,359	2,676,578
					/		
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	年間を通じた市内の観光拠点及び夏期における海水浴客等の駐車場として、また、観光客等の利便性の確保を図るため、市営駐車場の管理、運営を行う。 なお、駐車場の有料化については、現在使用している敷地が国有地であるためにその実施に制限がある場所もある。 市内の駐車場全般のバランスを見ながら、将来の課題として検討していきたい。 また、海岸については、観光客も多く訪れる観光スポットであるため、引き続き美化作業を実施する必要がある。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)							
特記事項		本事業の令和3年度予算は、観光事務費(443千円)、市営駐車場維持管理事業(4,282千円)及び海岸美化活動支援事業(3,823千円)に予算計上している。					

事業シート (概要説明書)

予算事業名	海水浴場運営事業		事業開始年度	平成16年度						
上位施策事業名	海岸砂浜の有効活用、安全・安心な魅力ある海岸づくり		担当課名	商工観光課						
根拠法令等	鴨川市安全で安心な海水浴場の確保に関する条例		係名	観光振興係						
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	影山光一						
実施の背景	南房総において、夏は観光のハイシーズンであり、中でも、海水浴は、古くから夏の観光客誘致のための重要なコンテンツとなっている。こうした中で本市においては、市内に5箇所の海水浴場を開設し、安全、安心な海水浴環境の整備に努めている。									
目的 (何をどうしたいのか)	安全、安心、そして快適な海水浴場環境を整備することにより、夏の観光客誘致を図る。									
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	海水浴客		対象者数 (全住民に対する割合)						
				人 (0 %)						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 千葉県レクリエーション都市開発㈱ 他) <input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()								
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標						
	関連事業 (同一目的事業等)									
事業コスト	R3年度 (予算)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)			
	事業費合計		15,663 千円		6,762 千円		24,006 千円		26,860 千円	
	事業費内訳 R2年度		・費用弁償 (監視監、清掃員) 27,220円 ・需用費 (消耗品、燃料、光熱水、修繕等) 499,442円 ・役務費 (開栓手数料、保険) 15,390円 ・委託料 (海岸清掃、警備、シャワー、海岸監視) 5,564,734円 ・使用料及び賃借料 (土地、自動車、資材、重機、AED) 573,712円 ・原材料費 (整備材料) 81,980円							
	担当正職員	0.8 人	4,482 千円	0.8 人	4,482 千円	0.8 人	4,482 千円	0.8 人	4,482 千円	
	臨時職員等	47.0 人	8,555 千円	16.0 人	1,131 千円					
人件費合計	47.8 人	13,037 千円	16.8 人	5,613 千円	0.8 人	4,482 千円	0.8 人	4,482 千円		
総事業費	28,700 千円		12,375 千円		28,488 千円		31,342 千円			
財源内訳	国県支出金	国県支出金の内容								
	地方債	千円		千円		千円		千円		
	その他特財	千円		千円		330 千円		千円		
	一般財源	28,700 千円		12,375 千円		28,158 千円		31,342 千円		
	財源合計	28,700 千円		12,375 千円		28,488 千円		31,342 千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		海水浴場運営事業		事業開始年度	平成16年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		海水浴場の年間利用者数	人	0 / 0	85,085 / 153,000	96,540 / 153,000
		海水浴場の監視業務日数	日	0 / 0	37 / 37	37 / 37
				/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/ 海水浴場の監視業務日数	円	769,946	847,081
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	安全で快適な海水浴場を開設することにより、海水浴客の増加が見込めることから、「海水浴場の年間利用者数」を成果目標として設定する。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		海水浴場の年間利用者数	人	0	85,085/153,000	96,540/153,000
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	<p>海水浴場については、これまでどおりライフセーバーの設置等により利用者の安全を図るとともに、各海水浴場の特色を生かしながらSNSも含めた情報発信により誘客増加を図る。</p> <p>また、各海水浴場において、マーケティングを実施し分析を行い、海水浴以外の新たなコンテンツ提供の試みや各海水浴場の活用方法を検討する。</p> <p>海水浴場は夏の重要な観光コンテンツであり、廃止に対する地域の反対も大きいですが、時間をかけながら、利用客の少ない海水浴場の統廃合についても検討する。</p> <p>コロナ禍においては、海水浴場内の感染対策はもとより、HPやSNS等により事前の注意喚起や浴場ごとの混雑状況などを発信することで、来訪者の安心安全を図る。</p>				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		令和2年度においては、関東全域で海水浴場が不開設となった。				
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	街路灯維持管理費	事業開始年度	平成25年度			
上位施策事業名	街路灯の更新整備	担当課名	商工観光課			
根拠法令等		係名	観光振興係			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	影山光一			
実施の背景	本市においては、合併前より3つの街路灯協会により、街路灯の維持管理が行われてきた。合併後、3つの街路灯協会の合併を検討した経緯もあるが、諸条件の違いにより困難であったため、せめて、3つの街路灯協会で統一した街路灯を設置することが合意された。こうした中で、天津地区及び小湊地区については、新たな統一された街路灯へ更新されたが、鴨川地区については、設置団体等の体制が整わないことから、今現在、更新できずにいる。					
目的 (何をどうしたいのか)	老朽化した街路灯の更新を図り、市内統一デザインの街路灯を整備することにより、また、更新された街路灯の適正な管理を図ることにより、観光地としての景観形成と、安全、安心な住空間の創造を図る。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	鴨川街路灯協会、天津街路灯協会、小湊街路灯協会、市民	対象者数 (全住民に対する割合) 31850 人 (100.0 %)			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施				
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 鴨川市街路灯保守協会)				
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 各街路灯協会 実施主体:)				
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()					
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標			
関連事業 (同一目的事業等)						
事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	10,899 千円	9,614 千円	10,431 千円	10,018 千円	
	事業費内訳 R2年度	街路灯電気代 3,719,979円 街路灯修繕 (球切れ交換等) 1,487,500円 損害賠償保険料 (当て逃げ保険) 29,700円 天津街路灯協会補助金 874,000円 小湊街路灯協会補助金 304,000円 鴨川街路灯協会補助金 3,199,000円				
	担当正職員	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	
	臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円	
	人件費合計	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	
	総事業費	11,459 千円	10,174 千円	10,991 千円	10,578 千円	
財源内訳	国県支出金	国県支出金の内容				
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	
	その他特財の内容					
	一般財源	11,459 千円	10,174 千円	10,991 千円	10,578 千円	
	財源合計	11,459 千円	10,174 千円	10,991 千円	10,578 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		街路灯維持管理費			事業開始年度	平成25年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		全体の管理基数		基	1,300 /	1,196 /	1,235 /
					/	/	/
					/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	全体の管理基数	円	7,826	9,190
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	老朽化した街路灯の更新により、景観上の改善と危険防止、街路灯のLED化による電気料削減を図ることを目的としているため、更新整備した街路灯の基数を成果指標とする。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		更新整備した街路灯の基数		基	0 / 711	0	0
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	天津・小湊地区は、各街路灯協会を主体として、平成25年から26年にかけて街路灯の更新整備が行われ維持管理を行っている。しかし、各街路灯協会の会員数は減少傾向にあり、今後、街路灯の維持管理が困難になる可能性があるとの報告を受けており、協会主導による街路灯維持管理の方向性が課題となっている。 旧鴨川市域に設置されている街路灯については、その老朽化が課題となっていたが、リース方式（10年間）により、既存街路灯をLED街路灯に更新する予定となっている。また、更新された街路灯については、電気料の支払い以外は、基本的にリース会社が行うこととなり、それに合わせて、鴨川街路灯協会については解散する方向性である。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	【平成28年度～参考】						
	近隣自治体の観光街路灯設置状況 勝浦市 観光街路灯無し（防犯灯、道路照明灯、商店街の照明（街路灯組合）） 館山市 観光街路灯無し（防犯灯、道路照明灯） 南房総市 観光街路灯無し※（全てLED化し、防犯灯として建設課で一元管理） ※富山地区に農林水産省補助金を活用した街路灯あり						
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	観光振興事業① /6	事業開始年度	平成16年度			
上位施策事業名	温泉事業の活性化	担当課名	商工観光課			
根拠法令等		係名	観光振興係			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	影山光一			
実施の背景	鴨川温泉及び小湊温泉については、市内宿泊事業者の取組みにより、平成15年に開湯した比較的新しい温泉である。温泉は宿泊客の誘致に向け、非常に有効な観光資源であり、温泉地としてのプロモーション、イメージづくりにより、更なる観光地としてのブランド力を向上させることが必要となっている。					
目的 (何をどうしたいのか)	多様なメディアを活用したプロモーション、イベント等を実施することにより、更なる宿泊客の増と入湯税の増収を図る。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	鴨川温泉旅館業協同組合、小湊温泉組合	対象者数 (全住民に対する割合) 人 (0 %)			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施				
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)				
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 各温泉組合 実施主体:)				
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き) 事業費 活動指標					
	<ul style="list-style-type: none"> 鴨川温泉旅館業協同組合補助金 5,500,000円 宣伝PR、温泉配湯、各イベント開催 小湊温泉組合補助金 4,350,000円 宣伝PR、各イベント開催 					
関連事業 (同一目的事業等)						
事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	8,865 千円	9,850 千円	12,500 千円	12,500 千円	
	事業費内訳 R2年度	<ul style="list-style-type: none"> 鴨川温泉旅館業協同組合補助金 5,500千円 (イベントの実施、「なぎさの湯」配湯、多様なメディアを活用したプロモーションの実施、共同商品開発・販売の実施) 小湊温泉組合補助金 4,350千円 (イベントの実施、多様なメディアを活用したプロモーションの実施) 				
	人件費	担当正職員	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
		人件費合計	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円
総事業費	9,425 千円	10,410 千円	13,060 千円	13,060 千円		
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円	
	国県支出金の内容					
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	
	その他特財の内容					
	一般財源	9,425 千円	10,410 千円	13,060 千円	13,060 千円	
財源合計	9,425 千円	10,410 千円	13,060 千円	13,060 千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		観光振興事業① /6			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		年間宿泊者数	人	490,000 /	692,101 /	679,119 / 945,000
		温泉配湯 (年間)	回	365 / 365	365 / 365	365 / 365
				/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費 / 年間宿泊者数	円	21.26	18.87	19.23
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	本事業は鴨川温泉及び小湊温泉を普及させ、観光客誘致の増員及び地域の活性化を図ることを目的とすることから、年間宿泊者数及び入湯税額を成果目標として設定する。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		年間宿泊者数	人	490,000	692,101	679,119/945,000
		入湯税額	千円	43,569	67,911	66,877/75,001
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	会費収入のみでは事業実施が困難であり、温泉を活用した活性化事業に対する支援を継続して実施する。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		【令和3年度予算参考】 近隣自治体の補助の状況 館山市 温泉事業組合補助金 6,584,000円 南房総市 温泉組合補助金 5,000,000円				
特記事項		本事業の令和3年度予算は、観光団体機能強化支援事業 (8,865千円) に予算計上 (4月補正) している。				

事業シート (概要説明書)

予算事業名	観光振興事業② /6	事業開始年度	平成16年度
上位施策事業名	観光イベント等への支援	担当課名	商工観光課
根拠法令等		係名	観光振興係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	影山光一
実施の背景	市内では、官民連携によるイベントが数多く開催されている。これらのイベントの多くは、観光誘客、地域活性化に向け、市民自らが発案し、事業化されているもので、こうしたイベントの支援は市民の観光まちづくりへの参画を促す意味からも必要な事業である。		
目的 (何をどうしたいのか)	観光イベント等への支援を行うことで、観光誘客と本市の魅力向上を図るとともに、市民の観光まちづくりへの参画を促す。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	イベント参加者	対象者数 (全住民に対する割合)	人 (0 %)
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)		
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 鴨川観光プラットフォーム株式会社 実施主体:)		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
	観光客誘致イベント事業に係る補助金 (鴨川観光プラットフォーム株式会社へ一括補助) ・ 鴨川市納涼花火 (鴨川市納涼花火鴨川大会、小湊大会) 2,436,712円 ・ 連夜の花火、キッズビーチ 4,100,000円 ・ 棚田の夜祭り、あかり 3,500,000円 ・ 菜畑ロード 3,400,000円 ・ 春の鴨川魅力アップフェア 2,000,000円			
関連事業 (同一目的事業等)				

事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
	事業費合計	20,233 千円	16,517 千円	14,500 千円	15,400 千円
	事業費内訳 R2年度	観光客誘致イベント事業補助金 16,517,000円 ・ 鴨川市納涼花火 (鴨川市納涼花火鴨川大会、小湊大会) 2,436,712円 ・ 連夜の花火、キッズビーチ 4,100,000円 ・ 棚田の夜祭り、あかり 3,500,000円 ・ 菜畑ロード 3,400,000円 ・ 春の鴨川魅力アップフェア 2,000,000円 ・ 事務費 1,080,288円			
	人件費	0.2 人 1,120 千円	0.2 人 1,120 千円	0.2 人 1,120 千円	0.9 人 5,042 千円
	総事業費	21,353 千円	17,637 千円	15,620 千円	20,442 千円
財源内訳	国庫支出金				
	国庫支出金の内容				
	地方債				
	その他特財			12,469 千円	7,740 千円
	その他特財の内容				
一般財源	21,353 千円	17,637 千円	3,151 千円	12,702 千円	
財源合計	21,353 千円	17,637 千円	15,620 千円	20,442 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		観光振興事業② /6			事業開始年度	平成16年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		観光イベント等の年間入込客数	人	122,443 / 300,000	238,319 / 300,000	258,385 / 288,100	
				/	/	/	
				/	/	/	
	単位当たりコスト	総事業費	/	観光イベント等の年間入込客数	円	144.0	65.5
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	本事業は観光イベントを開催することで、本市の魅力向上と併せ、地場産業の活性化を図るとともに、観光客誘致の増大による地域経済の振興を図ることから、「観光イベント等の年間入込客数」を成果目標とする。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		観光イベント等の年間入込客数	人	122,443/300,000	238,319/300,000	258,385/288,100	
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	現在、市内では様々なイベントが行われ、観光誘客に向けた取組が進められているが、これらの中には連携をすることにより、より魅力的なイベントとなるもの、経費の削減ができるもの等があるため、イベント事業全体の検証が必要である。 このようなことから、イベント事業の事務局を鴨川観光プラットフォーム株式会社に集約し、引き続きイベント全体の検証と取捨選択を行うこととする。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		【令和3年度予算参考】 近隣自治体のイベント補助の状況 ・館山市 観光行事補助金 6,000,000円 ・南房総市 観光イベント補助金 9,000,000円					
特記事項		本事業の令和3年度予算は、観光誘致イベント支援事業(20,233千円)に予算計上(4月補正)している。					

事業シート (概要説明書)

予算事業名	観光振興事業③/ 6		事業開始年度	平成16年度		
上位施策事業名	観光関連施設等の整備 (観光関連施設等の整備)		担当課名	商工観光課		
根拠法令等			係名	観光振興係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	影山光一		
実施の背景	平成26年度に策定した「清澄・四方木地区活性化基本計画」に基づき、平成27年度に「清澄・四方木地区活性化協議会」を設立した。当会からの要望により、観光サインを整備することにより同地区を訪れる観光客の利便性の向上を図るとともに、トレッキングルートを整備することにより自然環境を楽しむ場を提供し、観光誘客に繋げていくもの。					
目的 (何をどうしたいのか)	来訪者に対する誘導案内としてのサービス向上、観光都市としてのイメージアップを図るとともに、地域住民の観光施設や地域資源の認識を深め、地域一体となった観光振興の寄与する。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	清澄四方木地区を訪れる観光客及び市民		対象者数 (全住民に対する割合)		
				人 (0 %)		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者) <input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()				
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標		
	清澄植物公園トイレ改修工事		8,118,000円			
関連事業 (同一目的事業等)						
コスト			R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
	事業費合計		1,843 千円	8,118 千円	0 千円	5,615 千円
	事業費内訳 R2年度	観光トイレ改修工事 8,118,000円				
	人件費	担当正職員	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.0 人 0 千円	0.1 人 560 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
	人件費合計	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.0 人 0 千円	0.1 人 560 千円	
	総事業費	2,403 千円	8,678 千円	0 千円	6,175 千円	
財源 内訳	国県支出金		千円	5,412 千円	千円	2,286 千円
		国県支出金の内容 観光地魅力アップ整備事業補助金				
	地方債		千円	2,600 千円	千円	2,400 千円
	その他特財		千円	千円	千円	千円
		その他特財の内容				
	一般財源	2,403 千円	666 千円	0 千円	1,489 千円	
	財源合計	2,403 千円	8,678 千円	0 千円	6,175 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		観光振興事業③/ 6			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		観光公衆トイレの新規設置数	基	/	/	/
		観光サインの新規設置数	基	/	/	10 / 10
				/	/	/
	単位当たりコスト	/				
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	観光サインや観光公衆トイレを整備することにより同地区を訪れる観光客の利便性の向上を図るほか、トレッキングルートを整備により自然環境を楽しむ場を提供し、観光誘客に繋げる。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	観光公衆トイレの施設整備や周遊ルートの整備、案内看板の設置などを進め、観光関連施設の充実を図っていく。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項		本事業の令和3年度予算は、観光施設等維持管理事業 (1,843千円) に予算計上 (当初予算) している。				

事業シート (概要説明書)

予算事業名	観光振興事業④ /6	事業開始年度	平成16年度			
上位施策事業名	観光団体の機能強化	担当課名	商工観光課			
根拠法令等		係名	観光振興係			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	影山光一			
実施の背景	本市の観光振興を図り、観光誘客の増大を図るため、観光協会の実施する観光案内所の運営のほか、各種イベントの実施や観光資源を活用した旅行商品の開発、観光プロモーションの実施に対し、補助金を交付するもの。					
目的 (何をどうしたいのか)	会員の相互協力を促し、本市の観光振興を担う観光協会への財政的支援をするとともに、協会運営の効率化の充実強化を図る。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	(一社) 鴨川市観光協会	対象者数 (全住民に対する割合) 人 (0 %)			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施				
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)				
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 (一社) 鴨川市観光協会 実施主体:)				
		<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()				
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標			
	(一社) 鴨川市観光協会への支援 11,840,000円 (観光案内所の運営、各種イベントの開催、旅行商品の開発、観光プロモーションの実施等に対する支援)					
関連事業 (同一目的事業等)						
事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	10,746 千円	11,840 千円	15,000 千円	15,000 千円	
	事業費内訳 R2年度	観光協会補助金 11,840,000千円				
	人件費	担当正職員	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
		人件費合計	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円
	総事業費	11,306 千円	12,400 千円	15,560 千円	15,560 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円	
	国県支出金の内容					
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	2,000 千円	千円	千円	
	その他特財の内容 地域振興基金繰入金2000 (観光振興事業として12000)					
一般財源	11,306 千円	10,400 千円	15,560 千円	15,560 千円		
財源合計	11,306 千円	12,400 千円	15,560 千円	15,560 千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		観光振興事業④ /6			事業開始年度	平成16年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		補助金の交付		千円	11,840 /	15,000 /	15,000 /
		観光入込客数		人	1,763,140 /	2,477,359 /	2,676,578 /
					/	/	/
				/	/	/	
単位当たりコスト	事業費	/	観光入込客数	円	6.7	6.1	5.6
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	本事業は、本市の観光振興を図り、観光客誘客の増大を図り、市内経済の活性化を図ることを目的とすることから、「観光入込客数」を成果目標として設定する。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		観光入込客数		人	1,763,140	2,477,359	2,676,578/3,725,000
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	<p>会費収入のみでは事業実施、運営が困難であり、補助金を交付しないと事業目的が達成できないと考えてる。</p> <p>鴨川市、観光プラットフォーム株式会社など観光協会以外にも観光まちづくりの担い手が存在し、それぞれが担当している事務の重複部分も見受けられるため、各団体が果たすべき役割を精査し、効率的なまちづくりを目指していく必要がある。</p>					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		<p>【令和3年度予算参考】</p> <p>近隣自治体の補助の状況</p> <p>館山市 観光協会補助金 10,481,000円</p> <p>南房総市 観光協会補助金 15,000,000円</p>					
特記事項		<p>本事業の令和3年度予算は、観光団体機能強化事業 (10,746千円) に予算計上 (4月補正) している。</p>					

事業シート (概要説明書)

予算事業名	観光振興事業⑤ /6	事業開始年度	平成24年度
上位施策事業名	中間支援組織の機能強化	担当課名	商工観光課
根拠法令等	—	係名	新たな観光づくり係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	早瀬 努
実施の背景	団体旅行から個人旅行へと旅行形態が変わり、体験型観光のニーズが高まっていく中、地域の観光関係者が連携した地域ならではの旅行商品を提供する着地型観光の実施や観光情報を一元化した観光のワンストップ窓口としての機能を果たすため、観光プラットフォーム推進協議会が組織され、現在は鴨川観光プラットフォーム株式会社がこの役割を担い、旅行業における収益事業及び観光プロモーション等の公益事業を行っている。市は、同社の機能強化のための支援を行う。		
目的 (何をどうしたいのか)	本市が持つ様々な観光資源を活用した旅行商品の造成、販売、プロモーション等、観光まちづくりを一元的に担う組織として設立された観光プラットフォームの機能を強化し、更なる観光地イメージアップを図り、観光誘客を推進する。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	国内外の観光客	対象者数 (全住民に対する割合)	人 (0 %)
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)		
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 鴨川観光プラットフォーム株式会社 実施主体:)		
		<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
	地域の観光まちづくりの舵取り役となるDMO法人鴨川観光プラットフォーム株式会社の活動に対する支援を行う。 DMO法人組織機能強化事業 10,000千円 補助金交付件数			
関連事業 (同一目的事業等)				

事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
	事業費合計	18,000 千円	10,000 千円	20,000 千円	9,000 千円
	事業費内訳 R2年度	観光プラットフォーム補助金 10,000,000円			
	人件費	0.7 人 3,921 千円	0.7 人 3,921 千円	2.2 人 12,324 千円	2.5 人 14,005 千円
	総事業費	21,921 千円	13,921 千円	32,324 千円	23,005 千円
財源内訳	国県支出金				2,500 千円
	国県支出金の内容				
	地方債				
	その他特財		10,000 千円	7,500 千円	
	その他特財の内容	地域振興基金繰入金 (観光振興事業に12000)			
一般財源	21,921 千円	3,921 千円	24,824 千円	20,505 千円	
財源合計	21,921 千円	13,921 千円	32,324 千円	23,005 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		観光振興事業⑤ /6			事業開始年度	平成24年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		補助金交付件数	件	1 /	1 /	1 /
		中間支援組織の旅行等取扱件数 (鴨川観光プラットフォーム株式会社)	人	1,655 /	4,273 /	6,082 /
		「カモ旅」の年間アクセスユーザー数	人	316,015 / 55,000	72,820 /	93,337 / 9,000
	インターネットを活用した市場調査における回答件数	人	599 / 599	328 / 328	167 / 167	
単位当たりコスト	総事業費	/	旅行等取扱件数	円	7,564	3,782
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	鴨川観光プラットフォーム株式会社の機能を強化し、観光地としての魅力アップや積極的なプロモーションを図り、観光客を増加させることが本事業の目的であるため、成果指標を市内観光入込客数、市内宿泊者数及び同社の旅行等取扱件数とする。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		観光入込客数	千人	1,762	2,477	2,676
		延べ宿泊者数	千人泊	490	692	679
	中間支援組織の旅行等取扱件数	件	1,655	4,273	6,082	
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	<p>鴨川観光プラットフォーム株式会社は、観光まちづくりを一元的に担う組織として、関係事業団体との連携によるマーケティングやプロモーション等の公益事業を実施しており、引き続き支援は必要である。</p> <p>今後は、県内で3例目となる登録DMO法人取得したことで、関連官庁の支援メニューを活用した更なる観光振興を行うとともに、株式会社としての収益事業を充実させることで行政の補助に頼らない経営となるよう指導していく必要がある。</p> <p>また、現在、鴨川市、観光協会など同社以外にも観光まちづくりの担い手が存在し、それぞれが担当している事務の重複部分も見受けられるため、各団体が果たすべき役割を精査し、効率的なまちづくりを目指していく必要がある。</p>				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>登録DMO法人への支援の状況 (千葉県内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝浦市 (登録DMO法人: (一社) 勝浦市観光協会) かつら観光ぶらっとフォーム支援委託料 38,000千円【令和3年度予算】 ・大多喜町 (登録DMO法人: わくわくカンパニー大多喜) 補助金等なし (施設の指定管理等の委託事業あり) 					
特記事項	<p>鴨川観光プラットフォームは、令和3年3月31日付けで県内で3例目となる観光庁の「登録DMO法人」を取得した。</p> <p>本事業の令和3年度予算は、観光プラットフォーム事業 (18,000千円) に予算計上 (4月補正) している。</p>					

事業シート (概要説明書)

予算事業名	観光振興事業⑥ /6	事業開始年度	平成24年度
上位施策事業名	観光宣伝ツールの充実	担当課名	商工観光課
根拠法令等	—	係名	新たな観光づくり係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	早瀬 努

実施の背景
 地域おこし協力隊の活動、千葉ロッテマリーンズと連携した観光プロモーション、天津小湊観光会館での観光案内等を実施し、観光地としての本市の魅力を効果的に発信する等観光振興を図る。

目的
 (何をどうしたいのか)
 本市が持つ様々な観光資源について効果的なプロモーション等を行い、観光地魅力アップを図り、観光誘客を推進する。

対象 (誰・何を対象に)	市民、来訪者	対象者数 (全住民に対する割合)
		人 (0 %)

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 千葉ロッテマリーンズ、観光協会)
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()

事業概要	事業内容 (簡条書き)	事業費	活動指標
	事業内容 (手段、手法など) 地域おこし協力隊の活動による観光情報の発信や千葉ロッテマリーンズとの協同による観光情報の宣伝などを実施する。 また、天津小湊観光会館での観光案内等その他観光振興事業を実施する。 ・ 地域おこし協力隊活動事業 3,778,118円 委嘱者数 ・ 千葉ロッテマリーンズとの連携によるプロモーション事業 3,300,000円 プロモーション実施件数 ・ 鴨川吉保梅の里づくり事業 1,000,000円 補助金交付件数 ・ 天津小湊観光会館維持管理事業 350,000円 開館日数 ・ その他観光振興事業 130,400円		

関連事業
 (同一目的事業等)

事業費	R3年度 (予算)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)										
	事業費合計	8,564	千円	8,326	千円	9,211	千円	10,216	千円								
事業費内訳	謝礼金 20,000円 地域おこし協力隊報償金 2,400,000円 広告料 26,400円 観光宣伝広告料 3,300,000円 地域おこし協力隊支援委託料 1,125,882円 天津小湊観光会館 350,000円 日本自動車連盟負担金 4,000円 千葉県国際観光推進協議会負担金 80,000円 ちばプロモーション協議会負担金 10,000円 自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村負担金 10,000円 花の観光まちづくり事業補助金 1,000,000円																
人件費	担当正職員	0.4	人	2,241	千円	0.4	人	2,241	千円	1.0	人	5,602	千円	1.5	人	8,403	千円
	臨時職員等		人		千円		人		千円		人		千円		人		千円
	人件費合計	0.4	人	2,241	千円	0.4	人	2,241	千円	1.0	人	5,602	千円	1.5	人	8,403	千円
総事業費	10,805	千円	10,567	千円	14,813	千円	18,619	千円									

財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	2,500	千円
	国庫支出金の内容								
	地方債		千円		千円		千円		千円
	その他特財		千円		千円		千円		千円
	その他特財の内容								
	財源合計	10,805	千円	10,567	千円	14,813	千円	18,619	千円

事業シート (概要説明書)

予算事業名		観光振興事業⑥ /6			事業開始年度	平成24年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		地域おこし協力隊委嘱者数		人	1 / 1	1 / 1	1 / 1
		補助金交付件数		件	1 / 1	1 / 1	0 / 0
		天津小湊観光会館開館日数		日	365 / 365	365 / 365	365 / 365
		千葉ロッテマリーンズによるプロモーション実施回数		回	573 / 573	604 / 604	666 / 666
	単位当たりコスト	総事業費	/	観光会館開館日数 及びプロモーション 実施回数	円	4,849	5,287
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	地域おこし協力隊の活動が観光プロモーションや観光誘客に資するため、活動日数を成果指標とする。 観光案内や補助事業の実施が観光誘客に資するため、観光入込客数を成果指標とする。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		地域おこし協力隊活動日数		日	263	250	149
		観光入込客数		人	1762	2477	2676
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の 方向性、課題等	千葉ロッテマリーンズとの連携によるプロモーションや地域おこし協力隊制度を活用した鴨川市の観光PR等について、引き続き実施することとし、コロナ後を見据えた観光誘客を図っていく。 なお、花の観光まちづくり事業については令和2年度をもって補助を終了している。					
比較参考値 (他自治体での類似 事業の例など)							
特記事項		本事業の令和3年度予算は、観光プロモーション事業 (3,465千円)、観光地域づくり育成支援事業 (3,000千円) 及び観光事務費 (2,099千円) に計上している。					

事業シート (概要説明書)

予算事業名	広域連携事業 (広域市町と連携した観光誘客事業)	事業開始年度	平成16年度
上位施策事業名	近隣市町村等との広域連携の推進	担当課名	商工観光課
根拠法令等	—	係名	新たな観光づくり係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	早瀬 努
実施の背景	市域を越えた広域エリアを観光地として捉え、他市町と連携したプロモーション等を展開していくことで、魅力ある情報を効果的に発信できるほか、費用及び事務手続きの点からも市単独ではなく広域的に実施することが効率的である。		
目的 (何をどうしたいのか)	南房総観光連盟、外房観光連盟、宿泊・滞在型観光推進協議会など広域的な連携による観光キャンペーン等を実施し、観光誘客を図る。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	国内観光客及び外国人観光客	対象者数 (全住民に対する割合)	人 (0 %)
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)		
		<input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き) 事業費 活動指標			
	<p>宿泊・滞在型観光推進協議会 (鴨川市、館山市、南房総市、鋸南町及び富津市)、南房総観光連盟 (鴨川市、館山市、南房総市及び鋸南町) 及び外房観光連盟 (鴨川市、勝浦市、いすみ市、大多喜町及び御宿町) での観光プロモーション等事業を広域的に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊・滞在型観光推進協議会 780,000円 実施事業数 東京湾フェリーと連携した各種キャンペーン、各種モニターツアー、実証ツアーを行う。 ・ 南房総観光連盟 330,000円 実施事業数 観光PR、サイクルツーリズム、観光パンフレット等の作成を行う。 ・ 外房観光連盟 115,000円 実施事業数 			
関連事業 (同一目的事業等)				

事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
	事業費合計	1,250 千円	1,225 千円	1,245 千円	1,593 千円
	事業費内訳 R2年度	宿泊・滞在型観光推進協議会負担金 780,000円 南房総観光連盟負担金 330,000円 外房観光連盟負担金 115,000円			
	人員費	0.6 人 3,361 千円	0.6 人 3,361 千円	0.8 人 4,482 千円	1.0 人 5,602 千円
	臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
	人員費合計	0.6 人 3,361 千円	0.6 人 3,361 千円	0.8 人 4,482 千円	1.0 人 5,602 千円
	総事業費	4,611 千円	4,586 千円	5,727 千円	7,195 千円
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	国県支出金の内容				
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円	千円
	その他特財の内容				
	一般財源	4,611 千円	4,586 千円	5,727 千円	7,195 千円
	財源合計	4,611 千円	4,586 千円	5,727 千円	7,195 千円

事業シート (概要説明書)

予算事業名		広域連携事業 (広域市町と連携した観光誘客事業)		事業開始年度	平成16年度		
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		広域連携により実施した年間事業数		件	20 /	26 /	35 /
		観光宣伝キャンペーンの年間実施回数		回	18 /	31 /	30 /
					/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	広域連携により実施した年間事業及びキャンペーン数	167,853	110,298	110,692
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	観光客誘致を目的としているため、観光入込客数及び延べ宿泊者数を成果指標とする。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		観光入込客数 (暦年)		千人	1762/	2,477/	2,676/
		延べ宿泊者数 (暦年)		千人	490/	692/	679/
自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充						
今後の事業の方向性、課題等	<p>観光客誘致事業は、継続して実施することで効果が得られるため、地域のブランドイメージ向上や誘客のために引き続き必要な事業である。また、市単独ではなく広域的に連携することで、効率的な事業実施が可能となっている。</p> <p>一方で、南房総観光連盟と宿泊・滞在型観光推進協議会の構成団体のほとんどが重複しているため、両団体の役割の整理は必要と考える。</p> <p>また、本市に訪問する観光客の動態を調査し現状を把握することで、既存の枠に囚われない新たな観光プロモーション戦略を検討する必要もある。</p> <p>さらには、観光プロモーションの担い手として、観光プラットフォームや観光協会との役割の棲み分けについても検証していく必要がある。</p>						
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>各連盟の負担金一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊・滞在型観光推進協議会負担金 (館山市1,100,000円、富津市1,060,000円、鴨川市780,000円、南房総市880,000円、鋸南町180,000円)。 ・ 南房総観光連盟負担金 (館山市325,000円、鴨川市330,000円、南房総市350,000円、鋸南町220,000円)。 ・ 外房観光連盟負担金 (鴨川市135,000円、勝浦市110,000円、いすみ市110,000円、御宿町90,000円、大多喜町65,000円) 						
特記事項	本事業の令和3年度予算は、広域連携事業 (1,250千円) に計上している。						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	海辺の魅力づくり推進事業		事業開始年度	平成28年度			
上位施策事業名	前原・横渚海岸周辺・海辺の魅力づくり事業		担当課名	商工観光課			
根拠法令等			係名	観光振興係			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	影山光一			
実施の背景	前原・横渚海岸は日本の渚百選に選ばれながらも、前原海水浴場における海水浴客は年々減少となっており、周辺のサーフポイントにおける入込数についても、減少となっている。また、後背地にあるかつて賑わいを見せていた商店街も、現在では営業店舗も少なく、多くの空き店舗が発生するなど周辺地域の賑わいの消失につながっている状況となっており、その対策が求められたものである。						
目的 (何をどうしたいのか)	美しい海岸を有する鴨川市の特性を活かし、前原横渚海岸を核にフィッシャリーナからプロムナードを経て、市民会館、市営プール、東条海岸に至るまでの一帯の魅力の増進、加えて、新たな商業環境の創出、既成商店街の再生なども見据え、商業機能の活性化を図ることも含めた、前原横渚海岸周辺の魅力づくりを進める。						
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	前原横渚海岸周辺地域利用者		対象者数 (全住民に対する割合)			
				人 (0 %)			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施					
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 鴨川観光プラットフォーム株式会社他)					
		<input type="checkbox"/> 補助金(<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)					
<input type="checkbox"/> 貸付(貸付先:) <input type="checkbox"/> その他()							
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費	活動指標			
	<ul style="list-style-type: none"> 魅力体験広場内休憩施設設計委託料 2,585,000円 魅力体験広場内休憩施設整備に係る設計業務 プロジェクトマネジメント体制強化委託業務 19,404,000円 前原横渚海岸周辺の魅力づくりに関する計画の計画推進に係る業務委託 民間参入可能性調査委託料 4,906,000円 旧市民会館周辺地域への民間事業者参入可能性調査 海辺拠点体制整備補助金 5,239,000円 魅力体験広場の賑わい創出に必要な試行事業実施に係る補助事業 						
関連事業 (同一目的事業等)							
事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)		
	事業費合計	33,300 千円	32,143 千円	91,190 千円	61,572 千円		
	事業費内訳 R2年度	<ul style="list-style-type: none"> 設計委託料 2,585,000円 建築確認申請手数料 9,000円 プロジェクトマネジメント体制強化委託料 19,404,000円 民間参入可能性調査委託料 4,906,000円 海辺拠点体制整備補助金 5,239,000円 					
	人件費	担当正職員	0.7 人 3,921 千円	0.7 人 3,921 千円	0.8 人 4,482 千円	1.0 人 5,602 千円	
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円	
		人件費合計	0.7 人 3,921 千円	0.7 人 3,921 千円	0.8 人 4,482 千円	1.0 人 5,602 千円	
	総事業費	37,221 千円	36,064 千円	95,672 千円	67,174 千円		
財源内訳	国県支出金	15,295 千円	4,906 千円	45,345 千円	30,786 千円		
		国県支出金の内容 民間資金等活用事業調査補助金					
	地方債	千円	千円	12,700 千円	千円		
	その他特財	千円	千円	千円	千円		
		その他特財の内容					
一般財源	21,926 千円	31,158 千円	37,627 千円	36,388 千円			
財源合計	37,221 千円	36,064 千円	95,672 千円	67,174 千円			

事業シート (概要説明書)

予算事業名		海辺の魅力づくり推進事業			事業開始年度	平成28年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		前原横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会の開催		回	/	8 / 8	8 / 8
		海辺の魅力づくりを推進するための実施事業数		事業	4 / 3	8 / 8	6 / 6
		海辺におけるレクリエーション実施回数		回	0 / 9	9 / 9	0 / 9
	単位当たりコスト	事業費	/	海辺の魅力づくりを推進するための実施事業数	千円	9,016	11,897
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	前原横渚海岸周辺の課題の整理や利活用に向け策定した「前原海岸周辺の魅力づくりに関する計画」を推進し、海辺でのイベント開催やマリンアクティビティーなどの体験メニューの提供、民間事業者の事業参入などにより、海辺の魅力を高めることで賑わい創出を図ることを目的としているため、前原海水浴場及び周辺サーフポイントにおける入込客数及び海辺におけるレクリエーション参加者数を成果指標とする。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		前原海水浴場及び周辺サーフポイントにおける入込客数		千人	61/187	88/165	117/143
		検討(推進)委員会の開催		回		8/8	8/8
海辺におけるレクリエーション参加者数		人	0	9	0		
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	前原横渚海岸周辺の魅力づくりに関する計画では、5年が経過した時点でエリアマネジメントセンターや魅力体験広場の開設、及び民間事業者の事業参入により、海辺の賑わいが現れ始める時期でありましたが、令和元年に起きた台風災害や新型コロナウイルス感染症の影響等により、全てのスケジュールに遅れが生じていることが課題である。 民間事業者の事業参入実現に向け、法令等の整理など民間参入に向けた準備を行っている。また、令和2年度に完成予定であった魅力体験広場内の休憩施設整備が令和3年度に繰越となっているため、この事業についても早期に着手する必要がある。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)							
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	地域力創造アドバイザー招致事業	事業開始年度	
上位施策事業名		担当課名	商工観光課
根拠法令等		係名	観光振興係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	影山光一
実施の背景	2021年の日蓮生誕800年に向け、地域力創造アドバイザーを招聘し、海中に沈んでいるとされている日蓮生誕の地の調査を行い、これを特定することにより、新たな観光資源としての開発、商品化を図ることとした。		
目的 (何をどうしたいのか)	日蓮生誕800年を契機に、新たな観光資源の創出に向けた事業を推進し、観光地鴨川のイメージアップと更なる誘客を図る。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	対象者数 (全住民に対する割合)	
		人	(0 %)
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)	
<input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)			
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標
	・日蓮上人生誕地跡地調査 5,000,000円 調査日数		
関連事業 (同一目的事業等)			

		R3年度 (予算)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)		
事業コスト	事業費合計	1,800	千円	5,000	千円	5,124	千円	374	千円	
	事業費内訳 R2年度	日蓮上人生誕地跡地調査業務 5,000,000円								
	人件費	担当正職員	0.1	人	560	千円	0.1	人	560	千円
		臨時職員等		人		千円		人		千円
人件費合計		0.1	人	560	千円	0.1	人	560	千円	
	総事業費	2,360	千円	5,560	千円	5,684	千円	1,494	千円	
財源内訳	国県支出金		千円		千円		千円		千円	
		国県支出金の内容								
	地方債		千円		千円		千円		千円	
	その他特財		千円	3,905	千円		千円		千円	
		その他特財の内容 ふるさぽーと基金繰入金795、商工費寄附金1,110、地域振興基金繰入金2000								
	一般財源	2,360	千円	1,655	千円	5,684	千円	1,494	千円	
	財源合計	2,360	千円	5,560	千円	5,684	千円	1,494	千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		地域力創造アドバイザー招致事業			事業開始年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		地域力創造アドバイザー招致回数	回	0 / 0	1 / 1	4 / 4
		調査実施日数	日	13 / 13	5 / 5	/
				/	/	/
	単位当たりコスト	/				
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	具体的な取り組みに向け、招致 (アドバイスを聴取) した回数を指標とした。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		地域力創造アドバイザー招致回数	回	0	1	4
		調査実施日数	日	13	5	
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	日蓮上人生誕地の海底調査を踏まえたシンポジウムを開催し、新たなコンテンツ制作や文化財への位置付けなども検討しながら、観光資源の創出に向けた具体的な取組について検討していく。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	マイクロツーリズム推進事業	事業開始年度	令和2年度
上位施策事業名		担当課名	商工観光課
根拠法令等		係名	新たな観光づくり係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	早瀬 努
実施の背景	新型コロナウイルス感染症対策として、観光誘客や市内の消費喚起を図るため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業を行う。		
目的 (何をどうしたいのか)	外出自粛要請による市民のストレスの解消や健康を増進するとともに地域経済の振興を図る。さらには、地域の観光資源を市民が体験しその魅力を再確認するマイクロツーリズムの推進を図る。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民	対象者数 (全住民に対する割合)	31850 人 (100 %)
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)		
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 鴨川シーワールド 実施主体:)		
事業内容 (手段、手法など)	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()			
	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
市民を鴨川シーワールドに1か月間無料招待するウェルカモキャンペーンを鴨川シーワールドと協同して実施する。				
ウェルカモキャンペーン事業 8,000千円 補助金交付件数				
関連事業 (同一目的事業等)				

		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
事業コスト	事業費合計	千円	8,000 千円	千円	千円
	事業費内訳 R2年度	鴨川の魅力再発見ウェルカモキャンペーン補助金 8,000,000円			
	人件費	0.0 人 0 千円	0.1 人 560 千円	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円
	総事業費	0 千円	8,560 千円	0 千円	0 千円
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	国県支出金の内容				
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円	千円
	その他特財の内容				
一般財源	0 千円	8,560 千円	0 千円	0 千円	
財源合計	0 千円	8,560 千円	0 千円	0 千円	

事業シート (概要説明書)							
予算事業名		マイクロリズム推進事業			事業開始年度	令和2年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		補助金交付件数		件	1 / 1	/	/
		キャンペーン期間中の水族館の開館日数		日	30 / 30	/	/
					/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	水族館の開館日数	円	266,667	
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	多くの入館者を誘客することにより、市民のストレス解消や健康増進、マイクロリズムの推進を図ることができるため、入館者数を成果指標とする。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		本事業による入館者数		人	8,567	/	/
					/	/	/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	県内屈指のレジャー施設である鴨川シーワールドとタイアップしたキャンペーンを実施したことで、多くの市民の観光誘客を図ることができた。 来館者数が鴨川市民の4分の1以上に当たる8,567人となり、市民のストレス解消や健康増進、マイクロリズムの推進とした本事業の目的を十分果たすことができたと考える。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)							
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	観光振興事業 (新型コロナ対策)	事業開始年度	令和2年度
上位施策事業名		担当課名	商工観光課
根拠法令等		係名	新たな観光づくり係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	早瀬 努
実施の背景	新型コロナウイルス感染症対策として、観光誘客や市内の消費喚起を図るため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業を行う。		
目的 (何をどうしたいのか)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観光客が減少している中、観光誘客を図るとともに、地域の消費を喚起し、地域経済の振興を図る。また、日蓮生誕800年記念イベントを開催し、ウェブ等を活用した観光PRを行う。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民及び宿泊客	対象者数 (全住民に対する割合)	42,358 人 (133 %)
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 鴨川観光プラットフォーム株式会社)		
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 鴨川観光PF、観光協会ほか) 実施主体:		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費	活動指標
	【鴨川元気キャンペーンプレミアム付商品券発行事業】※観光PFへの補助により実施 事業費：6,850千円 活動指標：商品券販売件数 鴨川市内で使用可能な商品券を発行し販売する。(3,000円分を2,000円で販売) 【鴨川元気キャンペーン事業】※観光PFへの補助及び委託により実施 事業費：67,833千円 活動指標：宿泊者数 市内宿泊者を対象に市内で利用可能な5,000円分の商品券をプレゼントする。 【観光プロモーション事業】※観光PFへの補助により実施 事業費：22,000千円 ウェブやバスラッピング、パンフレット等によるプロモーションを行う。 【鴨川おもてなしキャンペーン事業】※観光協会への補助により実施 事業費：4,878千円 活動始業：宿泊者数 市内宿泊者に鴨川市の特産品をプレゼントする。 【地域の魅力づくり推進事業】※イベント実行委員会への補助により実施 事業費：5,000千円 活動始業：イベントコンテンツ数 日蓮生誕800年記念イベントを小湊地域において実施する。			
関連事業 (同一目的事業等)				

事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
	事業費合計	0 千円	106,561 千円	0 千円	0 千円
	事業費内訳 R2年度	鴨川元気キャンペーン事業委託料 35,227,000円 観光プロモーション事業補助金 22,000,000円 鴨川おもてなしキャンペーン補助金 4,878,000円 地域の魅力づくり推進事業補助金 5,000,000円 鴨川元気キャンペーン補助金 32,606,000円 鴨川元気キャンペーンプレミアム付商品券発行事業補助金 6,850,000円			
	人件費	0.0 人	0.4 人	0.0 人	0.0 人
	総事業費	0 千円	108,802 千円	0 千円	0 千円
財源内訳	国県支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0 千円	108,802 千円	0 千円	0 千円
	財源合計	0 千円	108,802 千円	0 千円	0 千円

事業シート (概要説明書)

予算事業名		観光振興事業 (新型コロナ対策)			事業開始年度	令和2年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		補助金交付件数	件	5 / 5	/	/
		プレミアム付商品券販売件数	件	5,000 / 5,000	/	/
		事業における宿泊者数	人	10,508 / 10,508	/	/
	日蓮生誕800年記念イベントにおけるイベントコンテンツ数	件	7 / 7	/	/	
単位当たりコスト	総事業費	/	宿泊者数	円	10,141	
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	地域経済の振興及び日蓮生誕800年記念式典での観光PRが事業の目的であることから、本事業における宿泊者、喚起された消費額及びイベントへの参加者数を成果指標とした。				
	成果 (目標達成状況)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		事業による宿泊者数	人	10,508	/	/
		商品券による消費額 (換金実績)	千円	72,518	/	/
	イベント参加者数 (ウェブでの参加を含む。)	人	12,908	/	/	
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	新型コロナウイルス感染症の拡大により、落ち込んだ市内の消費を喚起するために実施したものであり、事業実施による市内経済の振興及び観光PRに一定の効果はあったと考える。 引き続き臨時交付金を活用した事業を実施し、市内の経済振興及び観光誘客を図っていく。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項		元気キャンペーン補助金については、令和3年度に予算の一部を繰り越して実施する。(繰越額 77,394,000円)				

事業シート (概要説明書)

予算事業名	海水浴場運営事業 (災害経費)	事業開始年度	令和2年度
上位施策事業名	海岸砂浜の有効活用、安全・安心な魅力ある海岸づくり	担当課名	商工観光課
根拠法令等	鴨川市安全で安心な海水浴場の確保に関する条例	係名	観光振興係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	影山光一
実施の背景	南房総において、夏は観光のハイシーズンであり、その中でも、海水浴は、古くから夏の観光客誘致のための重要なコンテンツとなっている。こうした中で本市においては、市内に5箇所の海水浴場を開設し、安全、安心な海水浴環境の整備に努めている。		
目的 (何をどうしたいのか)	自然災害等により被害を受けた、海水浴場関連施設の復旧工事等を実施することにより、安全で快適な海水浴場の運営を行う。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	対象者数 (全住民に対する割合)	
		人	(0 %)
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)	
<input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)			
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標
	台風災害により被害を受けた海水浴場施設の復旧工事等を実施した。 ・ 江見海岸に設置されている更衣室の解体工事 1,958,000円 ・ 江見海岸に設置されているスロープ階段の修繕工事 90,000円		
関連事業 (同一目的事業等)			

		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
事業コスト	事業費合計	千円	2,048 千円	千円	千円
	事業費内訳 R2年度	・ 修繕料 2,048,000円			
	人件費	0 千円	560 千円	0 千円	0 千円
	総事業費	0 千円	2,608 千円	0 千円	0 千円
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	国県支出金の内容				
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円	千円
	その他特財の内容				
	一般財源	0 千円	2,608 千円	0 千円	0 千円
	財源合計	0 千円	2,608 千円	0 千円	0 千円

事業シート (概要説明書)

予算事業名		海水浴場運営事業 (災害経費)			事業開始年度	令和2年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		海水浴場内の施設修繕件数	件	2 / 2	/	/
				/	/	/
				/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	海水浴場内の施設修繕件数	千円	1,304
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
				/	/	/
				/	/	/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	自然災害などで被害を受けた施設については、安全性の観点から早急に対処する。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	オーシャンパーク管理運営事業		事業開始年度	平成23年度	
上位施策事業名	オーシャンパークの充実		担当課名	商工観光課	
根拠法令等			係名	観光振興係	
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	影山光一	
実施の背景	鴨川オーシャンパークについては、供用開始以来20年以上が経過し、施設設備の老朽化が目立ってきている。加えて、施設の利用状況についても、国道沿いから施設の様子も分かりづらく利用者数も減少傾向にあり、更なる活用方策の検討が必要となっている。				
目的 (何をどうしたいのか)	道の駅に求められる多面的な機能を十分に意識しながら、老朽化した施設の維持管理を適切に行い、利用者の増加を図る。				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	観光客、市民		対象者数 (全住民に対する割合)	
				人 (0 %)	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 鴨川市農林業体験交流協会) <input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()			
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
		道の駅であるオーシャンパークについて、指定管理者制度による施設の管理運営を行う。 ・オーシャンパークの管理運営 14,947,681円 年間入込人数			
関連事業 (同一目的事業等)					
コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
	事業費合計	16,098 千円	14,948 千円	14,452 千円	14,814 千円
	事業費内訳 R2年度	光熱水費 299,123円 修繕料 399,000円 清掃等委託料 1,013,738円 オーシャンパーク委託料 11,129,000円 土地借上料 2,027,620円 自動体外式除細動器リース料 79,200			
	人件費	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.3 人 1,681 千円
	臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
	人件費合計	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	0.3 人 1,681 千円
	総事業費	16,658 千円	15,508 千円	15,012 千円	16,495 千円
財源 内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円
	国庫支出金の内容				
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	6,605 千円	6,266 千円	6,380 千円	6,505 千円
	その他特財の内容	オーシャンパーク使用料			
	一般財源	10,053 千円	9,242 千円	8,632 千円	9,990 千円
	財源合計	16,658 千円	15,508 千円	15,012 千円	16,495 千円

事業シート (概要説明書)

予算事業名		オーシャンパーク管理運営事業		事業開始年度	平成23年度		
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		オーシャンパークの年間入込人数		人	251,251 / 504,000	277,521 / 504,000	321,588 / 504,000
					/	/	/
					/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	オーシャンパークの年間入込人数	円		46.1
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	指定管理者制度による施設の管理運営による利用客の増大を図ることを事業の目的としているため、「オーシャンパークの年間入込人数」を成果目標として設定する。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		オーシャンパークの年間入込人数		人	251,251/504,000	277,521/504,000	321,588/504,000
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	鴨川オーシャンパークについては、建設後22年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、指定管理者からは、エアコン設備の修繕の要望などの寄せられている。 また、利用者からは、駐車場からのアプローチとして太鼓橋が利用しづらいこと、千年磯の遊具が壊れて遊べない等、施設についての苦情を受けている状況にある。 さらには、千葉県の整備した駐車場側のトイレが老朽化し水回りや電気系統の故障が頻繁に発生している状況に加え、未だ和式のため、利用しづらいとの苦情も多く寄せられており、抜本的な施設改修等も視野に入れ、将来を見据えた施設のあり方についても検討を進める必要がある、					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)							
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	オーシャンパーク管理運営事業 (災害経費)	事業開始年度	令和2年
上位施策事業名	オーシャンパークの充実	担当課名	商工観光課
根拠法令等		係名	観光振興係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	影山光一
実施の背景	鴨川オーシャンパークについては、供用開始以来20年以上が経過し、施設設備の老朽化が目立ってきている。加えて、施設の利用状況についても、国道沿いから施設の様子も分かりづらく利用者数も減少傾向にあり、更なる活用方策の検討が必要となっている。		
目的 (何をどうしたいのか)	自然災害等により被害を受けたオーシャンパークの施設・設備等の修繕を行うことで、施設の適正管理に努める。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	対象者数 (全住民に対する割合)	
		人	(0 %)
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)	
		<input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)	
<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()			
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標
	台風災害により被害を受けたオーシャンパークの施設及び設備の修繕工事を実施した。 ・ 3階出入口ドア取替 1,210,000円 ・ 空調設備修繕 4,400,000円 ・ 青空市場テント張替 2,178,000円		
関連事業 (同一目的事業等)			

		R3年度 (予算)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)				
事業コスト	事業費合計	千円		7,788	千円	千円		千円				
	事業費内訳 R2年度	・ 修繕料 7,788,000円										
	人件費	担当正職員	人	0	千円	0.2	人	1,120	千円	人	0	千円
		臨時職員等	人		千円	人		千円	人		千円	
		人件費合計	0.0	人	0	千円	0.2	人	1,120	千円	0.0	人
	総事業費	0 千円		8,908 千円		0 千円		0 千円				
財源内訳	国庫支出金	千円		千円		千円		千円				
		国庫支出金の内容										
	地方債	千円		千円		千円		千円				
	その他特財	千円		千円		千円		千円				
		その他特財の内容										
	一般財源	0 千円		8,908 千円		0 千円		0 千円				
	財源合計		0 千円		8,908 千円		0 千円		0 千円			

事業番号

予算科目
(款項目) 7 - 1 - 4

令和3年度

事業シート (概要説明書)							
予算事業名		オーシャンパーク管理運営事業 (災害経費)			事業開始年度	令和2年	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		オーシャンパーク施設修繕件数			3 / 3	/	/
					/	/	/
					/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	オーシャンパーク施設修繕件数	千円	2,969	
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)						
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
					/	/	/
					/	/	/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	自然災害などで被害を受けた施設については、施設運営や安全性の観点から早急に対処する。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)							
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	消費者対策事業	事業開始年度	平成16年度			
上位施策事業名	-	担当課名	商工観光課			
根拠法令等	消費者基本法	係名	商工振興係			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	高梨 泰里			
実施の背景	社会状況の変化等とともに複雑化の傾向にある消費者問題に対して迅速に対応するため、国は平成21年に消費者庁を発足させ地方消費者行政の強化が求められており、本市としても市民の安全・安心な消費生活を確保していく上で国や関連団体として連携して消費者被害の防止を図るため必要である。					
目的 (何をどうしたいのか)	市民の健全な消費生活を確保するとともに、消費生活に関するトラブル等を未然に防止することを目的とする。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民	対象者数 (全住民に対する割合) 31,850 人 (100.0 %)			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)				
		<input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)				
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()					
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標			
関連事業 (同一目的事業等)						
コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	7 千円	0 千円	437 千円	706 千円	
	事業費内訳 R2年度					
	人件費	担当正職員	0.05 人 280 千円	0.05 人 280 千円	0.3 人 1,681 千円	0.3 人 1,681 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
		人件費合計	0.1 人 280 千円	0.1 人 280 千円	0.3 人 1,681 千円	0.3 人 1,681 千円
	総事業費	287 千円	280 千円	2,118 千円	2,387 千円	
財源内訳	国県支出金	0 千円	0 千円	203 千円	287 千円	
	国県支出金の内容 千葉県消費者行政推進事業補助金					
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	
	その他特財の内容					
	一般財源	287 千円	280 千円	1,915 千円	2,100 千円	
財源合計	287 千円	280 千円	2,118 千円	2,387 千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		消費者対策事業		事業開始年度	平成16年度			
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		-			/	/	/	
		市民相談における消費生活苦情相談件数		件	42 / 11	25 / 11	13 / 11	
					/	/	/	
	単位当たりコスト		事業費 (一般財源)	/	市民相談における 消費生活苦情相談 件数	千円	7	77
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	広く市民に健全な消費生活について情報提供をすることで、消費生活におけるトラブル被害の抑止効果として消費生活苦情相談件数が減少することで、市民の安全な消費生活を確保したものとする。						
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		市民相談における消費生活苦情相談件数		件	42/11	25/11	13/11	
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充						
	今後の事業の 方向性、課題等	消費生活問題に関する相談件数は減少傾向であるため、消費生活情報提供の効果が現れていると考えられる。しかし、市民が消費生活のトラブルを抱えても、家族や近隣住民に対する羞恥心などから消費生活相談等をせず潜在化している可能性も否めない。 また、消費生活問題は経済情勢や社会現象等の変化によって、様々な事案が発生することから、今後状況に応じた内容の情報提供等が必要である。						
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)								
特記事項								